

専修大学LLだより

目次

特集 みんなの留学

州立ブリティッシュコロンビア大学（UBC）経済学大学院留学記 （国際交流センター長 大林 守）	2
日本の留學生活（商学部2年 劉ゼン）	3
ボンジュール・トゥール（文学部3年 四條淳司）	4
留學に関する情報	4
国際交流センター海外留學プログラム一覧 専修大学国際交流協定校 留學情報を得るには TOEFL®-ITP（模擬試験）について 留學に関する情報誌はここで 留學生とコミュニケーションをとるには	
LL インフォメーション	6
（お勧め教材紹介、新着教材紹介、LL 自習室の利用時間）	



LL 研究室

州立ブリティッシュコロンビア大学 (UBC) 経済学大学院留学記



1979年から3年あまりにわたってカナダの UBC 経済学博士課程に在籍し、課程終了した後に帰国した。学歴としては、幼稚園と博士課程は卒業していないこと

になる。

なぜ留学をしたのかと聞かれれば、そうすることが当たり前環境にいたからというのが正直なところである。学部時代は体育会アメリカンフットボール部でプレイしていた。専修大学のグリーンマシンのような一流チームではなかったが、シーズン中は練習と試合、オフシーズンには部費稼ぎのアルバイトという生活だったから、学業成績は不良であった。

しかし、チームの OB だったコーチに大きな影響を受けた。そのコーチは、大学院修士課程を修了し、ニューヨーク大学の経済学博士課程に入学が決まっていた。今、考えると本人にとっては英語の勉強のついでだったかも知れないが、アメリカの最先端の情報を利用し、弱小チームを上位入賞を狙えるチームに変えていった。何事も模倣からということで、そのコーチと同じゼミに入ったところ、ゼミ生のほとんどが進学し、さらに留学する環境に身を置くことになったのである。実際、ゼミの同期生 4 名のうち、3 名が進学、筆者を含め 2 名が留学した。今から思えば、そういった環境をつかむことができたことが幸運だったと思う。

留学の関門は学業成績、つまり GPA であった。常識として 3.0 つまり B アベレージ以上が必要であったが、もちろん机の前よりフィールドにいた時間の方が長かった筆者は恥ずかしながらクリアできなかった。そこで、修士課程に進学し、成績をあげる努力をし、何とか留学できる成績にした。しかし、それでも留学するに至らず、専任助手として、さらに 1 年ほど待たねばならなかった。

留学先の UBC はバンクーバーという、北米大都市の中でも特に安全かつ暮らしやすい都市にあるため、カナダのみならず米国からも

多くの優秀な学者を集めていた。そのため、州立であるにもかかわらず州民が入ることが難しいと非難されることがあるほど優良な大学であった上に、特に経済学部には優秀な学者が多いことをカナダで教員をしていた先輩から知った。留学時には、生活の場としての住環境、そして大学のみならず特定学部の情報をきちんと調べる必要がある。

大学院における生存競争は厳しかった。コースワークは当然として、2 年目以降にコンプリヘンシブ試験と呼ばれる 1 科目 3 時間の筆記試験を 4 科目合格することにより博士候補生となるのだが、25 名いた同級生はこの段階で 5 人となってしまった。また、こういった形式的な要件以上に重要なのが、毎週のように行われるセミナーにおける積極的な参加である。北米では、研究者が論文を持って地方巡業しており、その受け皿としてセミナーが開催される。著名な研究者や売り出し中の研究者が次々と来訪するので、ゴシップを含めて情報流通が盛んとなる。UBC の場合、すばらしい眺望の教員ラウンジがあり、喧々諤々のセミナーの後はそこで軽くビールと軽食、そのあとはダウントウンに繰り出すのが定例であり、硬軟をうまく取り混ぜた環境が準備されていた。そういったセミナーにおける発表は研究者の評価に直結し、一方で参加者のコメントや質問が参加者の評価に直結している。出席するかしないかは自由だが、参加しない学生、建設的なコメントや質問ができない学生は次第に相手をされなくなっていくのである。

留学後期はカナダがマイナス成長した状況であり、経済的に継続を断念せざるをえない状況になった。奨学金やティーチングアシスタントの仕事は、当然カナダ人優先であり、かつ景気により増減する。結局、学籍は残したまま、1982 年の 12 月から経済企画庁経済研究所の客員研究員として、日本での研究者生活を開始することとなった。この後、専修大学に就職するまでの転職生活の話は別の機会に譲ろう。

国際交流センター長 大林 守 (商学部)

日本の留学生生活



みなさんこんにちは。わたしは中国から来ました、劉ゼンと申します。現在、商学部商業学科の2年に在籍しています。

さて、わたしの留学生活のなかで感じたことをお話ししたいと思います。

私が日本に留学しようと考えたきっかけは、やっぱり同じアジアの国の中で日本が一番発達しているし、しかも幼いころから日本という国に対していいイメージがあったからです。

来日以前、わたしの日本に関する知識は、「桜」「着物」「富士山」「いくつかの電化製品の名称」しかありませんでした。しかし、来日して日本のよさを実感するようになり、日本に対するイメージは大きく変わりました。以下、来日後、わたしが感じた日本の印象をいくつか取り上げてみたいと思います。

その一つは、日本人は秩序や公のルールを重んじる国民であるということです。日本に来てまず感心したのは、道路交通の秩序をコントロールする交通警察が街角にいたなくても信号無視など交通違反者をほとんど見かけないことです。恥ずかしいことですが、日本の知人から「中国の道路は怖いわね」と言われ返事のしようがないことが幾度もありました。中国の道路交通のマナーは非常に悪く、交通違反者の数は日本の何百倍とも言えるほどです。

もう一つ印象的なことは、日本人が礼儀正しい国民であるということです。わたしは、慣れない海外生活で初めての体験が多く、非常に戸惑うことがたくさんあります。

来日間近、初めてのアパート暮らしで不安な毎日を送っていた時、自分の住むアパートの管理人から「ご入居ありがとうございます。何かお困りの点がありましたら、管理室まで御越しく下さい」という手紙が届いても安心した思い出があります。

小さなことですが、細やかな心遣いと他人への礼節を重んじる国民性に強く心を打たれました。

もう一つは、日本人は非常に勤勉であるということです。わたしの勤めるアルバイト先に白髪の小柄なおばあさんがいます。彼女は私よりずっと年上にも関わらず仕事中に疲れた様子を全く見せません。アルバイトにも慣れ、自分も仕事は何とかなるようになったある日彼女と親しくなり、なぜ高齢のいまになっても一生懸命仕事をしているのかと尋ねると、「わたしにとって働くことは収入を得るためだけのものではなく、働くこと自体に価値や生きがいを見いだしているからよ」と返事をされ本当に感心しました。日本人が非常によく働くという評判は、日本の経済発展とともに国際的に定評があるところです。わたしは中国人も勤勉な国民であると思っていますが、アルバイト先のおばあさんのように働くこと自体に人生の価値を見出す人は少ないと思います。

日本へ来てから3年過ぎました。この間、多くの貴重な体験をすることができました。日本社会での社会経験や学習経験は確実に自分を成長させ、血となり肉となっているような気がします。世間知らずであったわたしが日本に来て、日本をそして中国を、さらに世界を知り、世界の出来事にも関心が持てるようになり、自分の生き方も真剣に考えることができるようになりました。中国はいま大きな経済発展を遂げようとしています。しかし、祖国の発展には日本からまだまだ学ばなければならない多くの点があります。わたし一人の力ではどれだけ中国の社会発展に貢献ができるかはわかりませんが、自分の留学生生活を意味あるものにするためにもその気持ちは持ち続けていきたいと考えています。

商学部2年 劉ゼン

ボンジュール・トゥール



去年の春期留学プログラムへの参加はとても有意義なものだった。一ヶ月という限られた期間にも僕たちは様々な感情を

共有し、素晴らしいフランス生活体験を得ることができた。留学を決めたきっかけは大学で二年間履修しているフランス語をどうにかコミュニケーションができるどこまでひきあげたい、というものだった。英語と一緒に既存の日本の外国語習得法にばかり頼っていたのでは、言葉は話せるようにはならない。じゃあ、本国に行ってみようというわけである。結果的には、希望通りのレベルには到達しなかったけれど、フランス語に打ち込む大きなきっかけになった。カフェでの注文、研修校での授業中の先生との会話、ホストファミリーとの交流、街角でのカメラのネガ現像の注文...等々。生活の中で覚える単語・言い回しはすべて現地では必須なものになっていくので、覚えるのにも必死になる。留学前にできることは限られているけど、少しでも耳を慣れさせる為の練習は必要。僕は大学の授業で使っていたCDをMDに録音して、毎日聞いていた。同じものを何百回も聞いているだけでも、いざ当地の人に言われたとしても俄然、反応・理解の速度は速い。話す練習を出国前にするのはなかなか難しい。でもテープの音をまねしながら声に出してみる、そして現地では恥ずかしがることなく失敗をおそれずに挑む。「当たってくださる」ぐらいの覚悟をもっていくのが丁度いいと思います。

文学部3年 四條 淳司

留学に関する情報

国際交流センター海外留学プログラム一覧

期間や目的、国によって選べる多彩な留学プログラムが用意されています。語学の習熟度によってステップアップできるよう工夫されています。詳細は国際交流センターに問合せしてください。

プログラム名	期間	内容
長期交換留学プログラム	約6ヶ月 1年間	世界11カ国15大学の協定校にて現地で開講されている正規授業で専門科目を履修。
中期留学プログラム	約3ヶ月 4ヶ月	アメリカやニュージーランドの協定校で開講されるインターナショナルクラスで英語を集中的に学習。
春期留学プログラム	約1ヶ月 2ヶ月	春期休暇期間中を利用した語学研修。英語、中国語、フランス語、スペイン語コースがあります。
夏期留学プログラム	約1ヶ月	夏期休暇期間中を利用した語学研修。ホームステイや学生寮で生きた言語を学びます。英語、中国語、コリア語、ドイツ語コースがあります。

全てのプログラムに単位認定の措置があります。



留学に関する情報

専修大学国際交流協定校(13カ国19校)

アメリカ	<ul style="list-style-type: none"> ・ネブラスカ大学リンカーン校 ・サカエ大学 ・イリノイ大学アーバナ・シャンペイン校 ・ルゴン大学
中国	<ul style="list-style-type: none"> ・上海大学 ・西北大学 ・北京大学
イギリス	<ul style="list-style-type: none"> ・レディング大学 ・ブリストル大学
韓国	<ul style="list-style-type: none"> ・檀国大学
アイルランド	<ul style="list-style-type: none"> ・ダブリン大学トリニティカレッジ
オーストラリア	<ul style="list-style-type: none"> ・シドニー工科大学
モンゴル	<ul style="list-style-type: none"> ・モンゴル国立大学
ドイツ	<ul style="list-style-type: none"> ・フランクフルター大学ルンデ・グイッテンベルク
フランス	<ul style="list-style-type: none"> ・リュミエール第2大学
ベトナム	<ul style="list-style-type: none"> ・ハノイ国立大学ルイ校
ニュージーランド	<ul style="list-style-type: none"> ・ワイタ大学
メキシコ	<ul style="list-style-type: none"> ・イェリバカン大学
スペイン	<ul style="list-style-type: none"> ・バルセロナ大学

*詳細については国際交流センターに問合せください

留学情報を得るには

留学先の情報を得る為の機関を紹介します。留学を思い立った時には、まずは情報収集を行うことから始めましょう。

(独法)日本学生支援機構 (JASSO) 留学情報センター : 03 - 5520 - 6131 http://www.jasso.go.jp/
日米教育委員会 教育情報部 : 03 - 3580 - 3231 http://www.fulbright.jp
ブリティッシュ・カウンシル 東京センター : 03 - 3235 - 8031 http://www.britishcouncil.org/jp/japan.html
アイルランド 大使館 : 03 - 3263 - 0695 http://www.embassy-avenue.jp/ireland/
オーストラリア政府教育情報センター (オーストラリア大使館内) : 03 - 5232 - 4164 http://www.study.australia.or.jp/
ニュージーランド 大使館 : 03 - 3467 - 2271 http://www.nzembassy.com/japan
ドイツ学術交流会(DAAD) : 03 - 3582 - 5962 http://tokyo.daad.de/japanese/jp_index.htm
フランス政府留学局 イェリバカン日本支局 : 03 - 5261 - 3993 http://www.edufrance-japan.com/
スペイン大使館文化部 : 03 - 3583 - 8531 http://www2.gol.com/users/esptokio/

TOEFL®-ITP (模擬試験)について

学内にてTOEFL®テスト模擬試験を実施しています。受験料 3,000 円。スコアは約 2 週間後に返却され、学内の留学プログラムの応募にも有効です。平成 16 年度は、6・7・9・10・11・1 月の計 6 回開催されました。申込方法などの詳細は、国際交流センターの掲示を参考にしてください。

留学に関する情報誌はここで

生田 LL テープライブラリーに「留学コーナー」を設け、様々なタイプの留学情報誌を用意しています。例えば、留学事典シリーズ(アルク出版)の『アメリカ』『オーストラリア・ニュージーランド』『留学準備スーパーガイド』『語学留学』『大学院留学事典』や『ワーキングホリデー』『インターンシップ』『イギリスの大学・大学院のガイド』等々。現在、冊数は少ないのですが増やしていく予定です。神田 LL 自習室にも配架されています。活用して下さい。また、生田 9 号館 5 階の国際交流センターでも沢山の留学情報誌を用意しています。気軽に訪れ利用してください。



国際交流センター書架

留学生とコミュニケーションをとるには

国際交流センターでは短期留学生の日本語レベルアップのために、帰国まで、日本語の会話練習相手をしてくれる「カンパセーションパートナー」や、留学生の日本語授業でお手伝いをする「クラスビジター」を募集しています。留学生とコミュニケーションをとることで異文化体験は勿論のこと、留学生の先輩としての彼らから学ぶことが多いと思います。興味のある人は、生田校舎の国際交流センターに問い合わせしてください。

LLインフォメーション

お勧め教材紹介

『修道士がフェル』シリーズ (10vols.)【DVD】

(ゲリア・シグスト他監督 日本ケック発売)

リス・ピーターズ原作のミステリをイギリスのテレビ局がドラマ化したシリーズ。12世紀のイングランド中部・シュルズベリーを舞台に十字軍帰りの異色修道士が薬草の知識をもとに事件を解決していく。サの称号をもつ名優レク・ジャコビが主演。格調の高いウィーン英語が学習できる。

(文学部 三浦)

新着教材紹介

==英語==

Harry Potter and the Sorcerers Stone

(J.K.Rowling 著, Christopher Little Literary Agency 2003)

原書(US版)です。英語を母語とする人にとっては小学校高学年以上のレベルの小説です。楽しみながら読むことのできる1冊です。

==韓国語==

歌でおぼえる韓国語(CD付)

(柳尚熙 著, 茅ヶ崎出版 1998)

アリソ、トジ、鳳仙花などよく知られている韓国の愛唱歌を通して、つまずきやすい韓国語のポイントを丁寧に解説。

==ロシア語==

ロシアを知る事典(川端香男里 他監修, 平凡社 2004)

ロシアと旧ソ連諸国の歴史・文化・社会を展望する総合事典。

==その他の言語==

NHKブラジル・ポルトガル語入門(CD付)

(河野彰 著, 日本放送出版協会 2001)

ブラジル・ポルトガル語文法の世界(CD付)

(田所清克, 青木義道 共著, 国際語学社 2003)

学生アンケートによる要望。ブラジルで使われるポルトガル語の発音の基礎から、初級文法、日常会話の土台となる表現などを解説。

LL 自習室の利用時間

* 入試当日(2/1,9,10,12,14,28)は、LL 自習室は閉室となります。注意してください。

春季休暇期間 2月1日(火)~3月31日(木)と
オリエンテーション・ガイダンス期間 4月1日~
4月9日(土)までのLL 自習室利用時間をお知らせします。

生田校舎	とも
	平日 9:00~16:45
	土曜 9:00~11:45
神田校舎	平日 9:00~18:45
	土曜 9:00~12:00
	15:00~16:45
	平日 9:00~20:45
	土曜 9:00~12:00
	13:00~18:45

* 但し 3/22(火)・4/5(火)は卒業式・入学式の為閉室となります。



編集後記

遅くなりましたが、LL だより 26号をお届けします。短期・長期にかかわらず、留学は人生の中で最も濃密な時間です。楽しいことばかりではありませんが、是非、先輩に続いて下さい。(ね)

専修大学LLだより 第26号

発行日 2005年1月25日
(平成17年)

編集発行 専修大学LL研究室
室長 三浦 弘

〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田2-1-1

URL:<http://www.gkk.senshu-u.ac.jp>

* 上記ホームページで「LLだより」をカラーで見られます。